ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/10/29 号(As of 2024/10/28)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	153.47
TKY 9:00AM	152.96	1.0797	165.05	1.2959	0.6603
SYD-NY High	153.88	1.0828	166.03	1.3001	0.6625
SYD-NY Low	152.41	1.0783	164.79	1.2942	0.6580
NY 5:00 PM	153.29	1.0811	165.72	1.2972	0.6583

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,387.57	273.17	日本2年債	0.4500%	0.0000%
NASDAQ	18,567.19	48.58	日本10年債	0.9700%	0.0300%
S&P	5,823.52	15.40	米国2年債	4.1345%	0.0288%
日経平均	38,605.53	691.61	米国5年債	4.1119%	0.0461%
TOPIX	2,657.78	39.46	米国10年債	4.2811%	0.0402%
ｼｶｺﾞ日経先物	38,700.00	500.00	独10年債	2.2840%	▲0.0060%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,285.62	36.78	英10年債	4.2540%	0.0205%
DAX	19,531.62	68.03	豪10年債	4.4820%	0.0570%
ﾊﾝｾﾝ指数	20,599.36	9.21	USDJPY 1M Vol	13.36%	0.36%
上海総合	3,322.20	22.50	USDJPY 3M Vol	11.91%	0.23%
NY金	2,755.90	1.30	USDJPY 6M Vol	11.23%	0.16%
WTI	67.38	▲ 4.40	USDJPY 1M 25RR	▲0.87%	Yen Call Over
CRB指数	277.71	▲ 6.97	EURJPY 3M Vol	10.74%	0.20%
ドルインデックス	104.32	0.06	EURJPY 6M Vol	10.39%	0.08%

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
10月28日	23:30	米	ダラス連銀製造業活動	10月	-3.0	-9.4

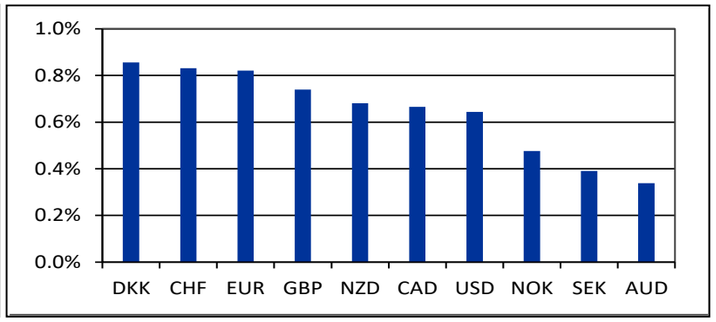
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
10月29日	21:30	米	卸売在庫(前月比)・速報	9月	0.1%	0.1%
	23:00	米	JOLT求人	9月	8000K	8040K
	23:00	米	ｺﾝﾌｧﾚﾝｽﾎﾞｰﾄﾞ消費者信頼感	10月	99.5	98.7

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は152.96ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。昨日行われた衆議院選挙の与党過半数割れの結果を受けた政局不安から、円安が進行し153.88をつける。買いが一巡した午後は下落基調も、下げ幅は限定的。153円台半ばでのもみ合いが続き、結局153.30ﾚﾍﾞﾙで海外時間へ渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、153.30ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。米10年債利回りの低下に伴って152.47まで売られる。その後反発し、152.73ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のﾄﾞﾙ円は152.73ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。本日は特段の注目経済指標の発表が無い中、ｵｰﾌﾟﾝ直後は売りが先行し、152.41まで下落。しかし、その後は低調な米2年債の入札結果を受け、米金利が再度上昇する動きを背景に153.26まで反発。午後は続いて発表された低調な米5年債の入札結果が値を支え、153.37まで上値を伸ばし、その後153.29ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙはじり安での推移が続き、1.0783まで下落する場面もあったが、その後は米金利の低下や、ｳﾝｼｭ･ﾍﾞﾙｷﾞｰ中銀総裁の「利下げﾍﾟｰｽを加速させる差し迫った必要性はない」との発言を受け反発し、1.0819ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は先述の低調な米2年債の入札結果が上値を抑え、1.0820付近を挟んだ上値重い推移。午後は1.0810付近まで小幅反落し、その後1.0811ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.70－154.60	1.0760－1.0870	165.00－167.00

【マーケット・インプレッション】

日曜日に行われた本邦衆院選挙の結果が先々の政権運営の不透明感示唆したものとなった。この結果が日銀の政策金利引き上げが来年に持ち越される可能性を想起させたか、昨日の東京時間は円が大きく売られて始まり日中も高値圏で推移した。ロンドン時間に入り米国金利が低下するとドル円は152.47と東京時間の上げ幅を一時全部吐き出すも、米国2年債の入札が低調な結果となると再び米国金利が上昇。ドル円も再び上昇し、高値圏の153.29レベルでのクローズ。

今週は31日に日銀政策決定会合があるが、大きくタカ派に偏った内容でなければ円売りは止まらないと想定する。したがって足元のドル円の行方は米国経済・金融政策に依存することになろう。米国は需要イベントが向こう10日間にかけて目白押しであり、その結果が米国景気の堅調さを否定し得ない場合はボラティリティを伴って大きくドルが上昇する恐れがある。その結果として、本邦当局が場当たり的に円安に対してけん制を行えば相場が大きく荒れる展開もあり警戒したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:元木・松木